

2012年度規格制定・改正・標準化調査項目評価総括表

No	部会 (件数)	規格名称	優先度	重要度	規格作業内容						分科会		前年継続	対応国際規格	
					JIS		JASO		標準化調査	TP制定	既存	新設		目的	有
					制定	改正	制定	改正							
1	電動車両 (1件)	高電圧リレーの性能評価方法	1	H							○	電動コンポーネント/ソフト	○	現在、信頼性評価の統一規格がないため車両毎に要求事項を設定しているが、これをTPとしてまとめ、信頼性を確保するとともに試験工数の低減を図る。	
2	アクティブ セーフティ (1件)	トラック・バス直進付近のハンドリング試験－周期操だ試験及びランプ操だ試験	1	H			○					操安性		日本として積極的に制定に協力したISO 11012が2009年に発行されたので、その技術的内容を包括しJASOとして国内に展開する。	
3	電子・電装 (6件)	パワーウィンドスイッチの水没試験方法	1	H			○					一般電装	○	パワーウィンドスイッチ水没時に一定時間動作を保証するJAMA申合せにつき、市場での実績を基に試験法を制定し試験効率の向上を図る。	
4		人体暴露に関する自動車の電磁界の計測方法	2	H						○		CISPR		標記のガイドラインがWHO及び総務省から示されており、自動車がこれに適合しているかを公正に試験するため、測定及び算出方法をTPとしてまとめる。	
5		自動車部品－電気コネクタのかん合離脱作業特性測定方法 (JASO D 623:2010)	3	M				○				コネクタ		現規格における各コネクタの評価点を整理してISO提案を目指す。	
6		自動車部品－ヒューズ－第3部:ブレード形ヒューズ (JASO D 612-3:2001)	4	M				○				ヒューズ		参考としているISO 8820-3が改正された為、この改正内容を盛り込むとともに、改正をしてきたJASO D 612の他のパートとの整合を図る。	
7		自動車部品－低圧電線の試験方法 (JASO D 618:2008)	5	M				○				電線		アルミ電線のJASO改正(2011年3月)に伴っての改正にあたり、一部参考としているISO 6722-1も改正予定であり、試験方法にも変化があることから、新国際規格の技術的内容も参考に最新化を図る。	
8		自動車用オルタネータ試験法 (JIS D 1615:1989)	6	M			○					一般電装		前回改正時に試験項目についてはISO 8854との整合を先送りしたが、ISO 8854が新たな試験項目を追加しDISに至ったため、この内容を反映し改正する。	○
9	車体・シャシ (1件)	自動車用サイドアラッチシステム試験方法 自動車用サイドアヒンジシステム試験方法	1	H			○					扉錠試験法		関連するECE R11、FMVSS 206の試験方法と整合させることによって、商品開発時において、試験工数の削減が期待できる。	

2012年度規格制定・改正・標準化調査項目評価総括表

No	部会 (件数)	規格名称	優先度	重要度	規格作業内容						分科会		前年継続	対応国際規格	
					JIS		JASO		標準化調査	TP制定	既存	新設		目的	有
					制定	改正	制定	改正							
10	パワートレイン (2件)	ディーゼル機関－高圧燃料噴射管の鋼管－第1部:冷間仕上継目無単層鋼管の要求事項 (JIS D 3607-1:2002)	1	H		○					燃料噴射装置			高圧化に伴い要求事項が増えつつあり、対応国際規格ISO/DIS 8535-1改正に合わせて改正する。	○
11		自動車部品－エンジン用EGRクーラー放熱性能試験方法	2	H			○				ラジエータ			EGRクーラーの搭載が増えているが、放熱性能の計測方法について規格を制定し、相互比較を可能にする。	
12	要素 (4件)	自動車部品－振動試験方法 (JIS1601:1995)	1	M		○					－			試験条件である振幅は、付図のグラフを用いて算出するが、計算値に対する誤差があるため、グラフの更新が必要である。	
13		自動車部品－座金組込み六角ナット (JASO F 118:1999)	2	M				○			ボルト・ナット		○	規定外の強度の使用が多くなったため、使用実態に合わる。また、関連規格の改正に合わせた内容とし、規格利用率の向上を図る。	
14		自動車部品－配線・配管用クリップ (JASO F 205:1996)	3	M				○			配線・配管用クリップ		○	使用実態に合わせた部品仕様、種類、分類の見直しや、性能要求、試験方法を見直すことにより、規格利用率の向上を図る。	
15 16		自動車部品－巻きブシュ (JASO F 503:1995) 自動車部品－樹脂製巻きブシュ (JASO F 506:2001)	4	M					○			巻きブシュ			F503の関連規格であるISO3574は2006年に改正されており、関連規格の動向、使用実態を調査し、改正の要否について判断する。
17	材料 (1件)	自動変速機油 (JASO M 315:2004)	1	H				○			自動変速機油			ATFの試験規格(M348,349,357)における標準油の切り替え改正が今年度に終る見込みであり、被引用される本規格も整合化させる。	
18	二輪 (2件)	電動二輪車－電費及び航続距離、走行性能、安全性、充電インフラ及び脱着式電池の安全性	1	H				○	○		電動二輪			標記について国内標準を準備し、これを国際標準化の場で生かし、国際標準化を主導する。	
19		二輪車－スラローム試験法	2	H				○				二輪スラローム試験法			二輪車の運動特性を客観的に把握するため、既存の定常円旋回、過渡応答、レーンチェンジ試験法に加え、新たにスラローム試験法を設定する。